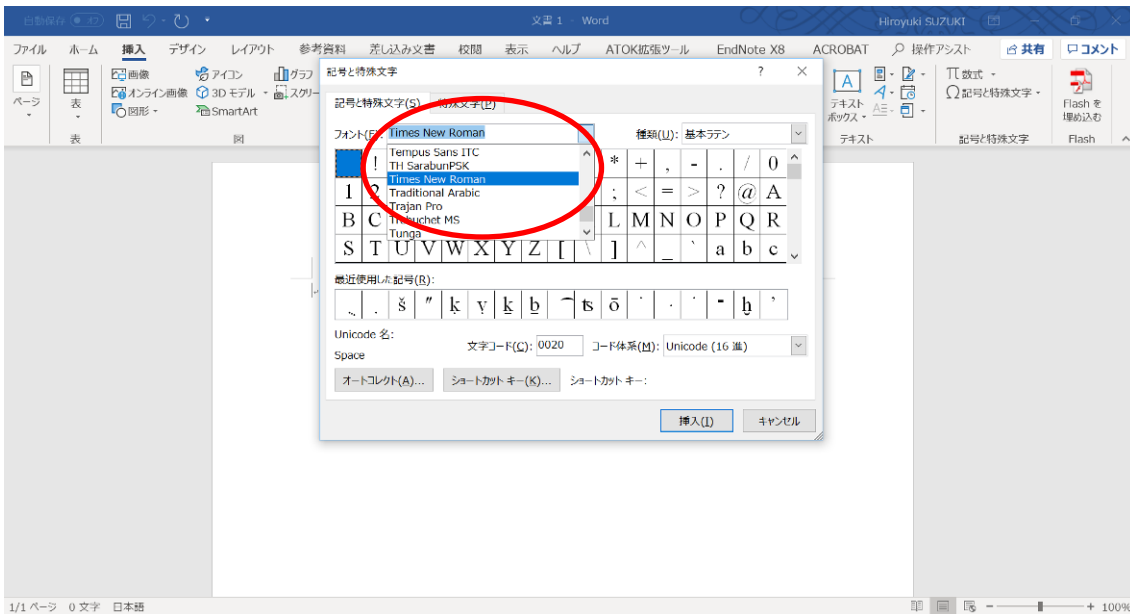
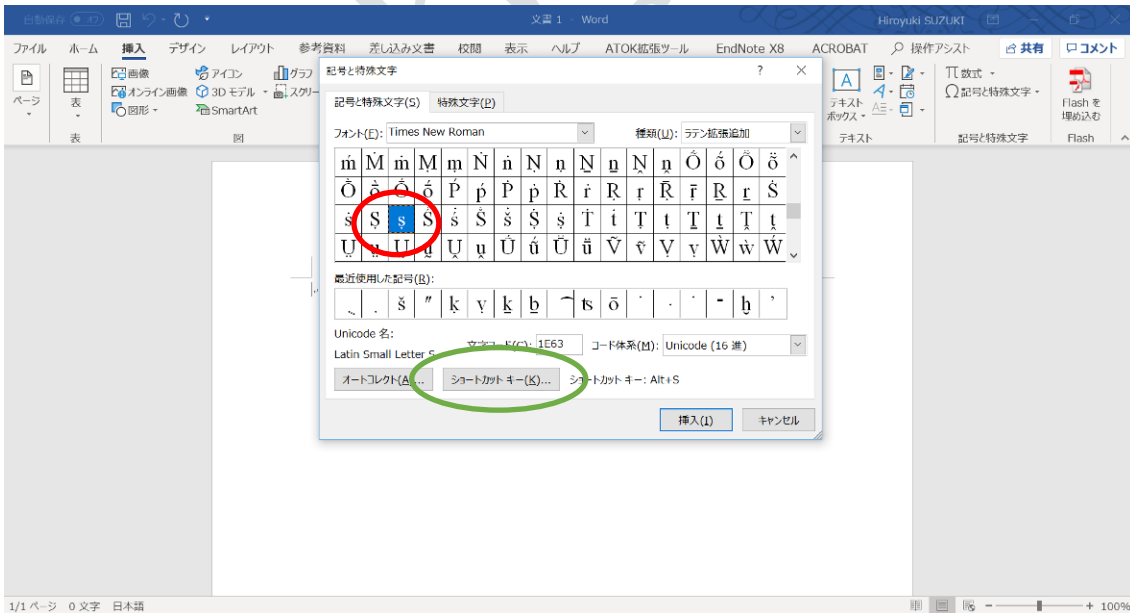


2. 2. 「フォント」で「Times New Roman」を選択します

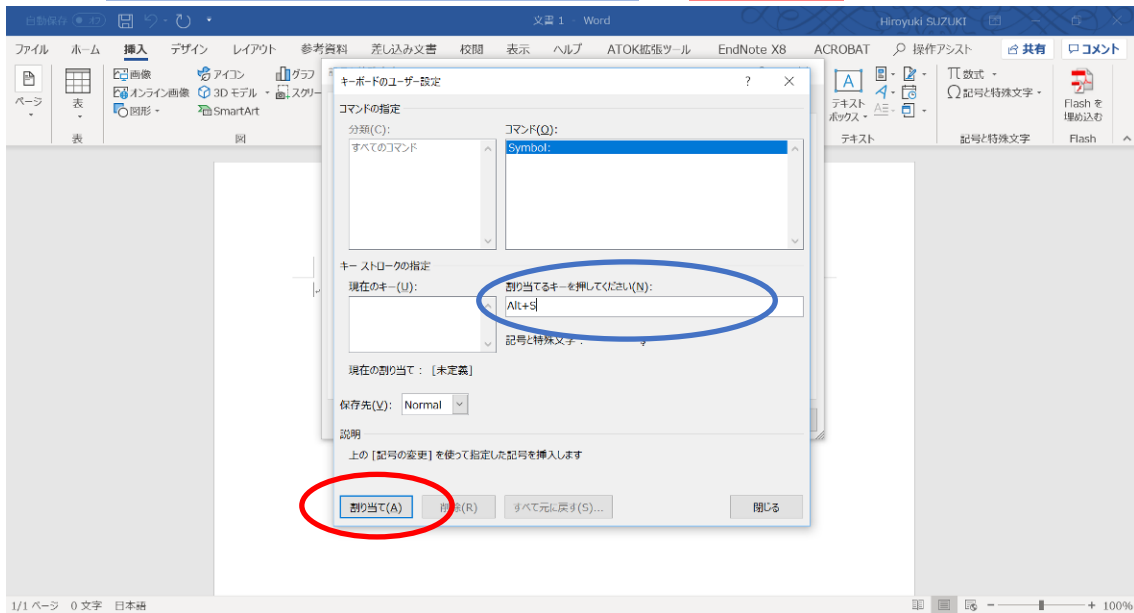
- ・手順1. で「mideast times」をダウンロードした場合は「mideast times」を選択してください
- ・論文で指定された英数字フォントがある場合は、そのフォントを選択してください



2. 3. 使用するフォントを選択し、「ショートカットキー」をクリックします



2. 4. 割り当て欄に「Alt+ (末尾参照)」を入力し、「割り当て」をクリックします



2. 5. 上記の手順「2. 3. →2. 4.」を各文字で繰り返します

- ・割り当てたキーの組み合わせをキーボードで打ち、転写文字がワードで入力されれば設定は完了です
- ・注意：エクセルなど他の Office 系ソフトで、このショートカットは機能しません

～完了～

【参考】各転写文字に割り当てるショートカットの例

H	ح، ح	Alt+Shift+H	z	ظ، ظ	Alt +Z
h	ح، ح	Alt +H	‘	ع، ع، ع، ع	Alt +7
Ş	ص، ص	Alt+Shift+S	Ā	آ	Alt+Shift+A
ş	ص، ص	Alt +S	ā	ا	Alt +A
D	ض، ض	Alt+Shift+D	Ī	إي	Alt+Shift+I
d	ض، ض	Alt +D	ī	ي	Alt +I
T	ط، ط	Alt+Shift+T	Ū	أو	Alt+Shift+U
t	ط، ط	Alt +T	ū	و	Alt +U
Z	ظ، ظ	Alt+Shift+Z			

3. 1. ローマ字転写の基礎：「転写の三大要求」¹

①文書の復元性 (written reversibility)

アラビア文字の原綴をローマ字転写から復元できること

②発音の認識性 (oral recognizability)

読者による発音がその語彙として十分に認識できること

③事故への免疫性 (resistance to accident)

発音を指示する記号 (ʾ の例で言えば下部の黒点) が万が一欠落した場合でも、混乱が最小限に留められること

3. 2. ローマ字転写法の種類

①『岩波イスラーム辞典』方式：

- ・同書の冒頭に掲載／日本語の片仮名への転写に優れています
- ・ローマ字転写は、長母音直後のターマルブータ表記に特徴があります

②IJMES (International Journal of Middle East Studies) 方式：

- ・インターネット上で「転写法則」と「単語帳」の閲覧ができます

③ALA-LC方式

- ・IJMES方式に類似していますが、転写法則がより細かく設定されています
- ・誤読の可能性のある文字の連続に対して、分かち書き表記を採用しています

例： أسهل → as'hal

④「国際」方式

- ・一部の文字をローマ字2文字の組み合わせで転写する上記①～③とは異なり、各アラビア文字に対してローマ字1文字を当てます
- ・アラビア語辞典 *Hans Wehr* がほぼこれに依拠しています

⑤ *Encyclopedia of Islam* 方式

- ・転写の基本は①～③と類似していますが、ローマ字2文字の組み合わせがアラビア文字1文字を表す場合には、その2文字に下線を引く工夫がなされています

〈転写の比較例〉

『岩波イスラーム辞典』方式

ي و ه ن م ل ك ق ف غ ع ظ ط ض ص ش س ز ر ذ د خ ح ج ث ت ب ا

□ b t th j ḥ kh d dh r z s sh ṣ ḍ ṭ z ʿ gh f q k l m n h w y

صلاة → ṣalāt (長母音後のターマルブータを t で表記します)

أسهل → ashal → ؟؟؟ اشل (sh など二文字表記の場合に誤読の可能性が生じます)

「国際」方式 (Hans Wehr)

□ b t ṭ j ḥ k d ḍ r z s š ṣ ḍ ṭ z ʿ ḡ f q k l m n h w y

صلاة → ṣalāh (長母音後のターマルブータを h で表記します)

أسهل ⇔ ashal (一文字に一文字が対応するので誤読は少ないです)

¹ Marshall G. Hodgson, *The Venture of Islam: Vol.1, The Classical Age of Islam* (Chicago and London: The University of Chicago Press, 1974), p.8.